

自分のために みんなのために そして大切な人のために 私たち一人ひとりが できること新聞

発行日：令和2年9月23日
発行者：社会福祉法人草津市社会福祉協議会



第5号 特集「コロナと共生・地域共生社会の実現」

新型コロナウイルス感染症に感染した患者の増加にともない、医療機関が感染した患者の診察に当たる機会が増えています。同時に、院内感染やクラスターといった疑いのあるケースも全国各地で報告され、医療関係者だけでなく福祉関係者も心配しながらも感染症防止に努めています。

また、感染患者を診たというだけで、医師や看護師など医療従事者がいわれなき誹謗中傷を受ける事例も各地で報告されていますが、それは専門職だけでなく、地域活動においても、もし感染者が拡大すれば誹謗中傷を言われる可能性があるでしょう。

しかし、私たちは、「目の前にいる困っている人を一人でも多く救いたい」という思いで、地域福祉活動を展開しています。コロナ時代に「一生懸命頑張って活動している人たちを誹謗中傷しない社会をつくりたい」、「頑張って活動している人たちの心を折らない社会をつくりたい」と草津市社会福祉協議会は、いろいろな支援や援助をしながら住民と共にコロナ時代を越えていきたいと思っています。

新生活様式を取り入れながら、私たちが今できることを精一杯進めていきますので、ご支援・ご協力・ご理解をお願い申し上げます。

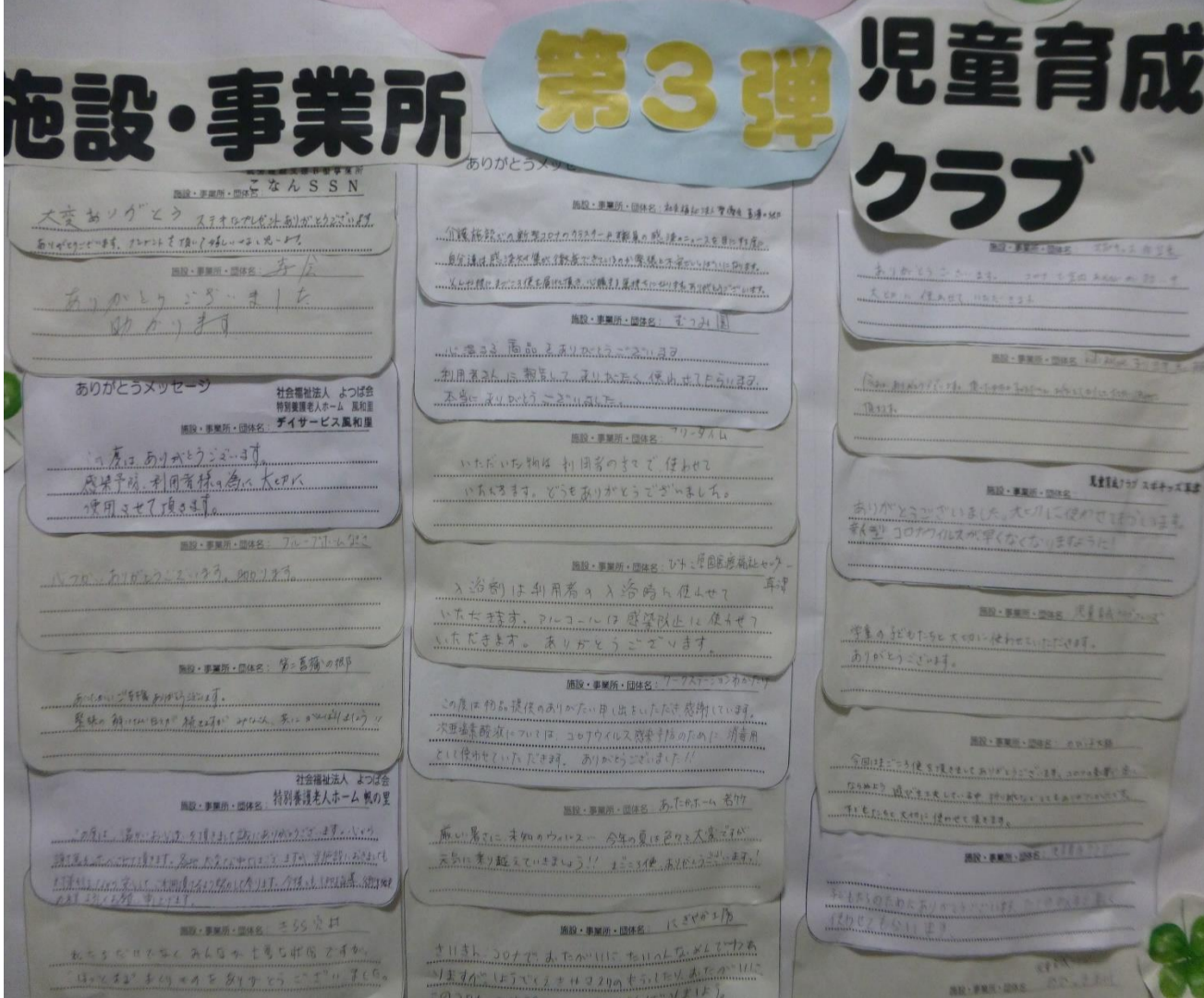
★市社協トピックス★ 「企業」・「市社協」・「活動」・「市民」の幸せの連鎖



《解言いただいた八方舟の感想》
久しぶりに使いました
顔の表情をささげることができました。有難うございました
職員の方々の笑顔を感じました
楽しく時間を過ごせました
久しぶりに顔の表情をして楽しかったです
夏の間暑さがたれて少し気分が開放されました
コロナで外出自粛なので、バスルに挑戦でき良かったです。早く日常生活に戻りたいです
むずかしい所が4カ所ほどありましたが、練習を聞いて良い勉強になりました。これからも楽しみにしています。
コロナウイルス感染拡大防止のため町内のサロンも全て中止の状況です。早く皆さんと出たいですが、一人住まいの方が心配です。結構楽しかったです。大家おもしろかったです。顔の表情になりました。
面白いバスルでした。ノーヒントでも手応えがあつて良かったです。
ちょっとむずかしかったです
すぐにわかる言葉もあれば、「うん？」というのを見つけて出す言葉もあり、顔の表情になりました。
花屋さんの気遣いはいいですが、我家の花屋はまだです。もうすぐ咲きますかね。
地域サロンにいらしたとき、コロナで自粛生活なので顔の表情になりました。
練習を片手にがんばりました。コロナにかかりませんように、お体大切に、笑顔でお会いできますように。
民生委員からうけとり、がんばってやりました。お禮ボケていません。毎月どうですかと訪ねてくれます。バスルの報告しました。決してやさしくないですね。ふくちゃんポストカードはいいな。孫への書き見舞いに使いたい。
どちらにも通ずる問題と解答が2、3カ所ありましたので、少し迷いました。
バスル解や挑戦するのですが、この年になって顔の運動、ボケ予防にいいかな。コロナの終息を願う日々を送っています。
とてもいい経験でした。顔の活性になりました。
漢字の読みが楽しく顔の表情になりました。
どうぞよろしくお願い致します。
福祉バスルでも楽しくチャレンジさせていたました。バスルを見たらすぐにやりたくなるバスル大好き人間です。これからもチャレンジしたいと思えます。次回も首を長くして待っています。
久しぶりに考えました。こんなバスルもあるのだと一生懸命！楽しかったです。
能力のなさに感謝苦言！ 忘れている言葉を覚えなおし出来て、良かったです。
いつもお世話になっております。
福祉バスルでも楽しく挑戦しました。
ひばりサロンでいつもお世話になっております。一日も早く皆さんにお会いできる日が来るよう願っております。
とにかく大変しかったです
バスル大好き。とても楽しんでできた。またの機会をお待ちしています。
今日のバスルは2文字の問題が多かった。次回も練習をお願いします。
むずかしかったです
第二回演習の場へボランティアに行っていました。3月末で解散。活動再開のための充電をいっしょにしています。
キズを癒させていただきました。

第1弾・第2弾・第3弾・第4弾「まごころ便」 ご協力・ご寄付いただいた企業等紹介

- ★詩人 里みちこ
5つの詩の寄付
- ★特定非営利活動法人アイ・コラボレーション
障害者手作りハガキ 5,000枚
- ★コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
飲料 1,200本
- ★有限会社管財技研
次亜塩素酸液 500本
- ★株式会社阪急オアシス
アルコール除菌シート 700個
- ★大阪ガス株式会社
おりがみ・画用紙
- ★フードバンク滋賀
入浴剤 100箱
- ★草津市役所
マスク 5,000枚
- ★市民から寄付していただいた子ども用マスク
マスク 150枚



応援メッセージ・ありがとうメッセージに感謝

8月下旬から、市社協玄関に第一弾「素敵なまごころ便」の高齢者からのお手紙と第3弾福祉関係施設応援「まごころ便」のありがとうメッセージを啓発させていただいています。

多くの素敵なお手紙ありがとうございました。職員一同感謝申し上げます。

また、寄付をいただいた多くの企業の方々にも感謝申し上げます。日頃の「つながり」こそが、大切であると感じさせていただきました。

今後とも、地域福祉の推進にご理解・ご協力を賜りますよう、併せてお願いいたします。

コロナ禍の中でも

学区社協活動は、工夫して実施します!!

下記の事業以外に、9月以降いろいろな活動を展開されます。その中でも工夫し取り組まれる活動を1~2つ紹介します。

志津社会福祉協議会

○学区「まごころ便」

コロナ禍の中で70歳以上の一人住まいの方に誕生日祝記念品をアイテムに見守り訪問活動を民生委員児童委員の協力を得て実施します。対象は、70歳以上の一人住まい高齢者170人、障害者30人約200人。

○医療福祉を考える会議

コロナ感染症を題材に事業所の人たちから思いを聞き、医療・福祉・地域活動への理解を深める。また、自粛中での過ごし方や暮らしの問題から地域に必要な活動を考えます。

常盤学区社会福祉協議会

○「みんなで笑おう会」を開催

みんなに笑顔になってほしいとの思いから、片岡町・上寺町・津田江町の地域サロンを対象に、落語家を招いて演芸会を実施します。10月にはまちセンで学区民全体を対象として同内容を実施します。

○ひとり暮らし高齢者・給食事業

コロナ禍でも、対策を講じながら、ひとり暮らし高齢者宅へ健康推進員調理のお弁当(夏場はお菓子)を民児協の協力を得て、お届けします。

老上学区社会福祉協議会

○医療福祉を考える会議

昨年から検討している『命のバトン』の作成に向けて協議を進めます。コロナ禍だからこそ、命のバトンをつながりづくりの一つとして、活用していけるよう展開します。

○老上幼稚園との交流会

今年は、従来通りの餅つきをしながらの交流会はコロナ対策の関係で、検討する必要がありますが、今だからこそできる交流の形で実施します。

南笠東学区社会福祉協議会

○健幸なまち南笠東プロジェクト

10・11・1・2月に、学区民に向けた病気予防に関する講座やまち散歩等の講座を実施します。コロナ禍で外出する機会の減ってしまった住民が外出する機会となり、心も身体も健幸になれるような講座を目指します。

○地域支え合い運送支援事業

11月頃から、地域支え合い運送支援事業を開始します。コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ、運転ボランティアや利用者どちらもが安心して運行できるように努めます。10/10には、市社協との協定書協定式をし、10/24に、学区民へお披露目式を実施する予定です。

笠縫学区社会福祉協議会

○グラウンドゴルフ体験交流

小学3年生114人と地域の高齢者がグラウンドゴルフを通して交流を深める。笠縫小学校との連携を図り、三密に配慮して2回に分けて子どもと高齢者の交流を実施します。

○笠縫「おでかけ」ふれ愛模擬訓練体験

コロナ禍の中で規模を縮小しながらも、徘徊模擬訓練を実施します。認知症サポーター養成講座も地域を限定し、野村地域で実施します。

草津学区社会福祉協議会

○老人クラブサロン

コロナ禍の中で中止予定だったサロンを老人クラブの方々と相談し、3回に分けて半日開催で実施し、お弁当は持参として実施します。

○地域福祉協力員、民児委員交流会

三密に配慮して、今年は地域を3つに分けて地域の福祉課題について語り、連携を深めます。

矢倉学区社会福祉協議会

○高齢者ふれあいサロン

毎年実施している65歳以上のひとり暮らし高齢者の集いであるふれあいサロンを、コロナ対策として参加人数の定員を減らし実施します。

○にこにこレストラン

夏にも実施しましたが、10月にも高齢者から子どもが集える「にこにこレストラン」を開催します。マスクを着用してもらったり、消毒液を設置したり、検温をしたりとコロナ対策を講じながら、実施していきます。また、子どもと調理をしながらではなく、食事のみでの開催にします。

志津南学区社会福祉協議会

○医療福祉を考える会議

9月の下旬にコロナ対策で人数を制限しながら、医療福祉を考える会議の立ち上げ会を開催したため、今後は次回の会議の内容等について検討を進めていきます。また、会議の内容は、住民へ周知をするため「志津南ニュース(学区社協新聞)」を作成します。

○認知症に関する勉強会

コロナ対策を講じながら、民生委員・児童委員や社会福祉委員、福祉委員、社協企画委員を対象にした、認知症に関する研修会を実施します。

玉川学区社会福祉協議会

○高齢者ふれあいサロン

コロナウイルス感染症対策として、人数や内容を工夫しながら、町別のふれあいサロンを実施します。

○医療福祉を考える会議

社協運営委員や民生委員・児童委員に呼びかけ、少人数での会議を実施します。会議では、専門職である萩の里の職員と訪問看護師に「コロナ禍での現場の実態」についてお話しいただき、参加メンバーで意見交換を実施します。

第4弾!! 学区社協活動応援「まごころ便」

学区社協活動が、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の関係から活動が困難な状況になっております。しかし、この時期に三密等を避け、地域福祉活動を展開されます学区社協に活動者皆さまの前向きな気持ちの後押しができればと考え、地域福祉活動の安心と安全を応援する学区社協応援「まごころ便」を贈ります。

配布物	配布基準	配布数
草津市社協会長メッセージ	1学区1通	14
市社協作成「熱中症×新しい生活様式チラシ」		
寄付備品		配布数
飲料(コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社)	1学区12本	168
次亜塩素酸液(有限会社管財技研)	1学区5本	70
アルコール除菌シート(株式会社阪急オアシス)	1学区5個(1個50枚入)	70
大人用マスク(市役所・市民寄付)	1学区50枚入り2箱	1,400

笠縫東学区社会福祉協議会

○ほのぼののサークル(地域サロン)事業応援

コロナ禍の中で、孤立した高齢者の支援と参加者の少なくなっているサロンへ少しでも頑張っていたきたいという思いで市サロン補助金以外に学区社協補助金として増額補助します。

○餅つき大会

コロナ禍の中で、今までとは違う方法を検討し、高齢者へお餅を配布します。安否確認と元気を届ける活動を民生委員児童委員と協力し進めます。

山田学区社会福祉協議会

○ふれあいの場づくり事業

コロナの影響が大きく実施が困難な地域の福祉活動状況の中で三密、発熱等を回避するため、体温計等を購入し下記の事業への支援等を進めます。

○ふれあいサロン・キラキラキッチンやまだっ子

コロナ禍で、孤立しやすい一人暮らし高齢者等へのバスツアー、高齢者ふれあいサロンを分散化して実施します。また、孤立した子どもたちの居場所づくりである「キッチンやまだっ子」は、今まで方法を変化させて実施します。

老上西学区社会福祉協議会

○ボランティアグループ「ママの手」約30人の立ち上げ

学区の担い手不足により、令和2年度学区社協事業を応援するボランティアグループを立ち上げました。立ち上げを契機に下記の事業を展開します。

○高齢者サロン・子育てサロン・子ども食堂開始予定

コロナウイルス感染症防止策を講じて、2・3月に3つの居場所を実施予定です。子育てサロン・子ども食堂は、冬休み・春休みに実施予定です。

大路区社会福祉協議会

○賛助会員へメッセージをお渡し

コロナ禍だからこそ、賛助会員の募集の際に、大路区社協のメッセージをお渡しする予定です。

○新型コロナウイルス感染症に関するチラシを作成

大路区内で、コロナウイルス感染症での差別が起こらないように、人権センターに相談をしながら、まちづくり協議会の福祉健康部会と協力して、啓発チラシを作成していきます。作成したチラシは、学区に全戸配布する予定です。

渋川学区社会福祉協議会

○住民参加型の広報紙の発行

学区社協広報紙「社協しぶかわ」を今年度2・3回発行します。コロナ禍の今でもできることとして、「福祉」というテーマでさまざまな学区住民に取材をし、福祉への関心を高められるよう努めます。

○〈ウィズコロナ時代の町内会福祉活動〉への助成

町内会活動推進において、福祉目的に沿った事業への助成金を申請された町内会に交付します(一町内会 最高7万円)。